

部長	理事	課長	課員	担当者

## 議事録要旨

会議名	第5回芦原温泉駅まちづくりデザイン部会
日時	平成30年2月15日(木) 19:30~21:00
場所	あわら市役所 203 会議室
出席者	<p>&lt;部会員&gt;            市民 / 笹原修之(部会長)、西田幸男、八木康史            福井工業大学 / 川島洋一(教授)            市職員 / 鳥山公裕、細川正樹、中島之裕、坂井真生</p> <p>&lt;事務局&gt;            新幹線まちづくり課 / 永井課長、山本補佐、赤神主査            1-1 Architects / 石川</p>
欠席者	市民 / 高木めぐみ、森嗣一郎 名古屋工業大学大学院 : 伊藤孝紀(准教授) 市職員 / 中辻雅浩、竹内優美
内容	<p><b>【開会】</b>  <b>事務局：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまで進めてきた芦原温泉駅周辺まちづくりプランについて、2月4日に執行された市長選挙に伴い、新市長の意向が新たに盛り込まれることが考えられ、計画の変更は少なからず出てくると思う。皆様のご協力をお願いしたい。</li> <li>先日の大雪により国道8号線の約1,500台に及ぶ立ち往生など、約5日間市民への物流が寸断された。市としても今後、防災対策のさらなる充実を図っていきたい。</li> </ul> <p><b>【部会長あいさつ】</b>  <b>部会長：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市長が代わり、市の運営方針が変わるのは致し方ないことである。そのため、それに合わせて計画を進めていくことは必要なことではあるが、期限と要望を併せて考えていく必要がある。</li> <li>意見がまとまるまで部会を複数回開いてもよいと考えているので、本日は皆様の忌憚のないご意見をお願いしたい。</li> </ul> <p><b>【協議事項】</b>            (1) 芦原温泉駅舎デザインの選定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昨年11月9日に鉄道運輸機構より、新幹線駅舎デザイン3案の提示があった。</li> <li>平成29年11月15日から平成30年1月31日まで、広報あわら11月号に折り込んで市内全9,500世帯にアンケートを実施した。また、金津高校や成人式でもアンケートを実</li> </ul>

施した。

- ・本日の資料は、集計結果を示したものである。
- ・B案が7割を超える支持を得る結果となった。
- ・2月23日開催予定の芦原温泉駅周辺賑わい創出協議会にもこの結果を示すつもりである。
- ・3月20日にあわら市地域ブランド戦略会議があり、最終案を決定する。
- ・3月26日に、市から鉄道運輸機構に付帯意見を添えて決定案を伝える。

事務局：

- ・デザイン案には、例えば県産材を使いたいなど、付帯意見を添えて鉄道運輸機構に提出する。付帯意見を踏まえて、機構側で設計がされることとなる。

事務局：

- ・2月23日の賑わい創出協議会では、市で考えている付帯意見の例をお伝えするつもりである。それを踏まえてご意見をいただきたいと思う。

部会員：

- ・機構からは、3案のパス以外に資料を受領しているか。反対側（東口）のデザインや細かいところが不明である。

事務局：

- ・3案の簡単な説明文以外は受領していない。
- ・在来線駅舎との調和も重要であると思うので、現在、TYPE A/B に逆アングルのパスの相談をしている。付帯意見は駅の外観に限定している。

事務局：

- ・在来線駅舎をリニューアルするとしても新幹線駅が開業した後の議論となる。

事務局：

- ・新幹線駅舎の高架下は、機械室関係が大半を占める計画であり、売店などを置くのは難しいと聞いている。

部会員：

- ・4階部分に立たないと新幹線は見えないのか。

事務局：

- ・おそらく駅部分も高架部分にも数メートルの防音壁が付くので、新幹線を眺めるのは難しいと思う。防音壁を透明素材にしてもらおうよう、要望している。
- ・芦原温泉駅は、そこで停車しない通過列車も多くなると思うので、騒音対策はきちんと行う必要がある。

部会員：

- ・駅前が暗いので、ライトアップするなどして駅舎は明るくしてもらいたい。例えば、時期ごとに照明の方法を変えるなどしてもよいと思う。駅はJR所有なので、難しいところも多いと思うが、できるだけ駅前の魅力アップに協力してもらいたい。

部会員：

- ・自由通路へのポスター等の掲示は市の権限で行えるのか。

事務局：

- ・自由通路は市道なので、市の権限で掲示等が可能である。

事務局：

- ・現在の在来線駅の自由通路は、施設管理者が JR なので、掲示許可が必要となっている。

部会員：

- ・パースの 2F ガラス張り部分はどのような機能が。

事務局：

- ・待合及びコンビニが入ると聞いている。

部会員：

- ・コンビニは改札内にあるのか。また、コンビニの管理者は誰になるのか。

事務局：

- ・コンビニは改札外で、JR の管理と聞いている。その他、売店などの話は聞いていない。

部会員：

- ・コンビニを駅外に出してもらおう要望はかけられるか。現在の在来線駅舎のように駅舎内にあると、市民が利用しづらい。駅舎内にコンビニがあることによって、駅前にコンビニができないという弊害が起きているのではないか。

事務局：

- ・市から駅にコンビニを設置するよう要請した経緯がある。現在は新幹線駅改札前付近に配置するという話になっている。配置する場所については今後変更の余地はあるかもしれないが、まちづくりプランの土地活用検討街区にもコンビニ機能を見込んでいる。

部会員：

- ・JR に要望してコンビニを駅外に計画してもらおうか、土地活用検討街区内にコンビニの出店を要請するか、どちらの方が実現性が高いかによってくるだろう。

事務局：

- ・おそらくどちらも難しそうな話ではある。

(2) 芦原温泉駅周辺まちづくりプラン（12月議会提示案）について

事務局：

昨年 10 月 24 日の第 4 回まちづくりデザイン部会からの変更点や経緯を説明。

- ・自由通路から「A」の文字を描くようにペDESTリアンデッキを計画していたが、試算をすると全体工事費が 64 億円程となった。議会へ金額を示したところ、縮減すべきとの意見が出たため、ペDESTリアンデッキを縮小する案や、ペDESTリアンデッキを止めて大屋根をかける案を出し、最終的には事業費を鑑みて、全て屋根とする案となった。
- ・当初、福井信用金庫、サカノデンキもエリアに入れていたが、事業費の縮減を目的としてエリア対象外とした。
- ・賑わい空間から土地活用検討街区、a キューブへの動線に屋根をかけて、雨に濡れずに行けるようにした。
- ・a キューブの西側 3 棟をブックカフェとし、既存施設も活用していきたいと考えている。
- ・賑わい空間、土地活用検討街区に植栽を施し、コンセプトである森と共に成長するまちの「森」が感じられる設えにしていきたいと考えている。
- ・土地活用検討街区には 2F レベルに 200～250 席のホールを計画している。

- ・本日提示したまちづくりプランの規模感で、事業費約 27 億円と試算しており、およそ議会の承認は得ている。
- ・「あわらの未来づくりアンケート」や、「市民・駅利用者・観光客ニーズ調査」、「市民ワークショップの成果」をもとに、まちづくりプランの計画を進めてきた。
- ・まだ新市長と詳しい協議はできていないが、少し変えていきたいという話も出ているので、今後の変更もあり得る。
- ・近日中に市長ときちんと話し合う予定である。
- ・まちづくりプランは今年度完成させる予定であったが、市長の意向もあり、延長するつもりである。延期期限は未定。

事務局：

資料「市民・駅利用者・観光客ニーズ調査」について説明。

- ・本屋・CD ショップ、カフェ、休憩スペースのニーズが高く、ブックカフェというかたちで、まちづくりプランに盛り込んだ。
- ・レストラン、居酒屋、おにぎりスポットに関しても、比較的ニーズが高く、飲食店として配置している。
- ・学習スペースのニーズは、ブックカフェや休憩スペースの中に学習エリアを想定している。
- ・足湯もニーズが高いが、あわら湯のまち駅前に芦湯があるので、そちらへのアクセス向上によりニーズに応えたいと考えている。ただし、駅を降りた際の温泉街らしさの出し方については今後の検討課題とする。
- ・ホールや体験スペースは、ニーズとしてはそれほど高くないが、駅前エリアの賑わい創出のため政策上必要と考え、配置している。

事務局：

- ・これまでの各アンケート調査や市民ワークショップの考察から、現在まちづくりプランに入れている機能の妥当性はある程度見て取れると思う。アンケート回答者の年代に偏りがあることや、利用頻度に関する調査結果などもあるので、最終的な機能決定はデータを多角的に捉えて判断していけるとよいと考えている。

部会員：

- ・ブックカフェは今流行っているかもしれないが、5 年後の発想としては古くなっているのかもしれない。

事務局：

- ・まちづくりプランでは、どのような機能をどの程度の大きさで入れるかを定めることが大事だと考えている。ブックカフェに関しても、a キューブにまとめてつくるが必ずしも正解ではなく、全体のいたるところに勉強、読書、休憩などができるスペースを散りばめてもよいと思う。それが既存のブックカフェにない新しい機能を生む可能性だと考えている。

部会員：

- ・屋根の景色はどういったイメージか。また屋根の厚みのイメージは。

事務局：

- ・森と共に成長するまちというコンセプトがあるが、植物を植えれば森と言えるかといえ

ばそうではないと考えている。建築もその上で重要な要素となるので、トップライトの開け方、柱の落ち方などを検討して、木漏れ日のような多様な光に満ちた屋根空間になればと思う。現在パースを描き進めているが、凹凸のある立体感のある屋根を検討している。

部会員：

- ・イメージしづらいので、パースの途中経過を見せてもらえるとよい。

部会員：

- ・賑わい空間から土地活用検討街区までの屋根の下には横断歩道が付くのか。商店街への波及効果を考えると、T時路側につけるべきだと考える。

事務局：

- ・現在屋根を計画している部分（T字路より北側）には既存の横断歩道があるので、今後も横断歩道を付ける予定である。
- ・祭りの山車が賑わい空間や、土地活用検討街区、aキューブ側に入ってきて休憩などしやすいよう、今の位置に計画している。

事務局：

新市長から以下のような話を聞いている。

- ・市内に自然はたくさんあるのにわざわざ駅前に植栽を施し、維持費がかかることの懸念。
- ・駅前だけに限らず、商店街の活用など、全市的に機能の議論を行う必要がある。
- ・屋根はあるが、風が入ってきたり、北陸の気候では夏冬など屋外で活動しにくい状況下であり、実際利用される時期が限定されるのではないかと。
- ・市長が変わったことは、プランを見直すよいきっかけにもなると考えているので、今後に向けてご意見をいただきたい。

部会員：

- ・森と共に成長するまちのコンセプトが別の会議体から生まれたもので、部会としてしっかりきていない部分もあるし、まちづくりプランと合っていないのではないかと感じる。
- ・本来、デザイン部会で積み上げたものを賑わい創出協議会へ上げるべきであるが、このコンセプトは賑わい創出協議会で生まれたものがデザイン部会におりてきているので、順番が逆になってしまっている。
- ・植栽を施すことが賑わい創出につながるとは思わない。
- ・ペDESTリアンデッキがなくなった時点で、配置すべき機能ももう一度考え直さねばならないのではないかと。
- ・駐車場がなければ市民は来ないし、観光客もバスに乗ってすぐに移動してしまうので、飲食店を作っても客が入らない心配はある。
- ・地元商店街が頑張ったり、駅前をリニューアルしたからといって市民が駅前に集まるとは思えない。
- ・チェーン店の集客力は圧倒的に優れている。駅前にチェーン店があるだけで、市民が駅前に行く意識は高まると思う。

部会員：

- ・福井駅前のマクドナルドさえなくなっているの、あわら市へのチェーン店誘致は難し

いのではないか。

- ・地元の人が誇れるようなものを作って、みんなで協力して広報していく必要がある。

事務局：

- ・チェーン店の出店は可能性としてかなり低いため、まずは市民で盛り上げて、そういったチェーン店も今後来てくれるようなまちにしていこうというモチベーションで計画を進めてきたと思う。そのモチベーションから、「都会にはない贅沢があるまち」という魅力的なキーワードが出てきて、比較的納得されているのかと思っていた。
- ・とはいえ、「森」のキーワードは前市長時代に生まれた発想であるため、新市長の意向で「森と共に成長するまち」のコンセプトが変わる場合は仕方がないと思う。

部会員：

- ・皆、駅前に行こうと思っているのだろうか。
- ・親の行きたい店が駅前にあれば、子供もついてくるかもしれない。
- ・皆それなりの生活ができればいいと思っており、やる気になる人が少ないのではないか。
- ・儲かると分かっているなら事業を始められるが、そうでなければなかなか動き始めないだろう。
- ・エルディの失敗理由はキーテナントがなかったこともあると考えているので、そういった店舗の誘致は大切だと思う。

部会員：

- ・地元の人が変わらない限り、まちは良くなる。
- ・皆でお店の案内を作って出すことで、盛り上げていくことが先決である。
- ・市民の知らないところに観光客が来ることはない。市民が魅力を知って、観光客に伝えていけるようにするべきである。
- ・芦原温泉駅にどの時間帯に人が多くいるのかを調べて、その時間帯だけ営業するなどの方法でもよいと思う。時間帯と客層に合わせた機能（お店等）の計画が必要である。

事務局：

- ・笹原部会長の話を受けて、チェーン店（スターバックスなど）を呼ぶしか解決策がないように聞こえるが、それでは長続きしないと思う。

部会員：

- ・チャレンジショップがことごとく失敗していく中で、キーテナントを呼ばないことには将来が心配である。

事務局：

- ・「森と共に成長するまち」というコンセプトは前市長の意向であるので、今後新市長とも協議して方向性を定めていく必要がある。ただ、市民アンケートからも、あわらしさを「自然」とする回答が多くあったことは事実である。

部会員：

- ・全国的に人口が減少していく中で、駅前が常に賑わっているという状況は難しいと思う。その中で、あわら市民が納得できる駅前かというのが最終的な目的になってくるだろう。
- ・あわらの自然は山でなくて森であると思うので、駅前で森を感じてもらおうという意味からも、「森と共に成長するまち」のコンセプトはある程度理解できる。その森がどういう森かというのはこれからの議論によるだろうが、必ずしも市内の森に植わっている樹

種でなくてもよいと思う。

- ・福井駅前のハピテラスのイベントスペースの稼働率は年間 50 回ほどかと思われ、少ないと感じる。ただ、ハピテラスができたことによってそこを歩く人は確実に増えた。こういった小さなきっかけの積み重ねがまちの賑わいを生むのだと思う。イベントも、「年に何回かしかできない」と考えるのではなく、「年に何回かはできる」と考え、具体的にその内容を検討していく方が前向きではないか。
- ・チャレンジショップに挑戦して失敗したとしても、それは必ずしも店主の責任だけではない。周りのバックアップも継続していく必要がある。

事務局：

- ・市民アーケードやワークショップなどの手続きを経て作り上げてきたプランではあるが、まちづくりデザイン部会の皆様が納得していないプランでは成功しないと思う。今後、新市長と協議を進めるにあたって、本日まで出席の皆様が、このまちづくりプランについて大方承認してよいと考えているのか、そうではないのかをお伺いしたい。

部会員：

- ・無電柱化する際に、街路樹を撤去してほしいという要望もある（害虫がひどいので）。駅前に植物を植えた時に、同様に虫害対策などが必要になるのではないか。
- ・土地活用検討街区を開発するとなると、そこに住んでいた区民は減る。飲食店などが入ったとしても、その店主は区民ではないし、新富繁栄会などへの加入も見込めないであろう。区民がいない（少ない）状態で駅前運営をしていく必要が出てくるだろう。
- ・市民を駅前に呼ぶのであれば、市民の生活サイクルの中に必要な機能を組み込んでおくべきである。店舗の広報・告知などに携帯アプリなどの方法があってもよいのではないか。アプリでないにしても、毎日市のホームページに何か情報がアップされているなどすることで、市民への意識付けが行えるのではないか。

事務局：

- ・そういったアプリ等の開発などは市に求めるというよりは、それを望む事業者の方々で行っていただきたい。

部会員：

- ・現状の案が悪い訳ではないが、これまで変更を重ねてきた中で、当初の計画と随分変わってきているし、計画者の盲点になっている部分もあると思うので、もう一度しっかり見直すのは大切だと思う。現在の計画には、ツギハギ感を感じてしまう部分もある。

部会員：

- ・ペDESTリアンデッキができれば目を引くと感じていた。また、伊藤准教授のプレゼンにもあったように、日本一などを目指せるものがあるとよい。

事務局：

- ・まだ皆様がこのプランに対してじっくりきていないというのは分かった。
- ・都会にはない贅沢がどこにあるのかまだ見い出せていないように思う。

部会員：

- ・土地活用検討街区の建物は、買い取って解体する方針か。

事務局：

- ・そのつもりである。

部会員：

- ・地元の人を集めるには、日用品が買えるようにする必要がある。
- ・土地活用検討街区の完成は随分先になると思うので、そちらに計画しているキッズスペースやコンビニなどの機能も、あらかじめ賑わい空間側に計画しておく方がよいのではないか。

事務局：

- ・当初はまず、賑わい空間を整備し、その後土地活用検討街区の整備を行う予定であったが、PFI の活用により、5年後にどちらも完成するというシナリオも可能性が出てきた。

部会員：

- ・憩いの森のあたりを暫定的に駐車場にするのがよいのではないか。
- ・屋台村の成功は、目の前に駐車場があることと、メディアに積極的に出していったことにあると考えている。

(3)市民報告会について

事務局：

- ・平成 30 年 3 月に予定していた市民報告会は、中止とする。  
(策定したまちづくりプランを基に PFI 導入の検討を行うため)

(4)今後の予定について

事務局：

- ・ 2 /23(金)芦原温泉駅周辺賑わい創出協議会 開催予定
- ・ 3 /20(火)あわら市地域ブランド戦略会議 開催予定

**【次回開催日時】**

- ・(未定)